



## 記 録 誌

主催：新河岸川流域総合治水対策協議会  
新河岸川流域川づくり連絡会

新河岸川流域リレーフェスティバル  
記 録 誌  
目 次

第1章	はじめに	- 1 -
1.1	本記録誌のねらい	- 1 -
1.2	新河岸川流域リレーフェスティバルの概要	- 1 -
第2章	各支川の川まつりの概要	- 3 -
2.1	川まつりの日程等	- 3 -
2.2	川まつりの詳細	- 4 -
第3章	新河岸川流域フォーラムの概要	- 7 -
3.1	当日プログラム	- 7 -
3.1.1	開会挨拶	- 8 -
3.1.2	フィールドワーク	- 10 -
3.1.3	講演会	- 15 -
3.1.4	ワークショップ	- 22 -
3.1.5	その他	- 30 -
第4章	まとめ	- 33 -
4.1	当日アンケート	- 33 -
4.2	まとめ・・・あとがきにかえて	- 34 -

## 第1章 はじめに

### 1.1 本記録誌のねらい

本記録誌は、平成 15 年 7 月 20 日（日）から、9 月 7 日（日）まで開催された『新河岸川流域リレーフェスティバル』の内容を取りまとめたものです。行政機関等における配布及び閲覧により、今後の地域・市民との連携にむけて活用していただければ幸いです。

### 1.2 新河岸川流域リレーフェスティバルの概要

新河岸川流域リレーフェスティバルとは、新河岸川流域の各支川で開催された川まつり 9 箇所に加え、新河岸川流域フォーラムの計 10 箇所をリレーイベント形式で結びつけたものであり、今回が初めての試みでした。リレー化の効果が高まるよう、スタンプラリーも実施しました。

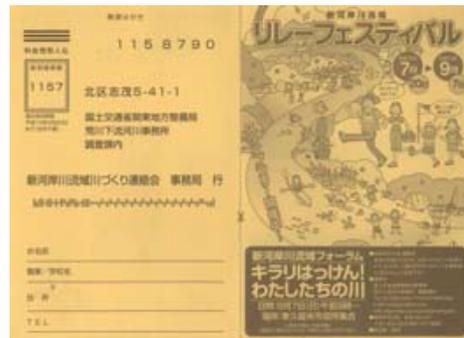
スタンプラリーは、本リレーフェスティバルの各会場においてもらえるスタンプを、スタンプカードに 3 個以上集めて応募すると、抽選で賞品が当たるという内容で、多くの方に参加していただきました。最終的な応募は 27 通ありました。

本リレーフェスティバルは新河岸川流域の各支川団体が企画段階から積極的に参画し、各自治体職員、国土交通省と協力してイベントを実施しました。なお、参加人数は、川まつり全体で約 2,800 人、フォーラムには 41 人の参加がありました。

《ポスター》



《スタンプカード》



《チラシ》



## 第2章 各支川の川まつりの概要

### 2.1 川まつりの日程等

リレーフェスティバルの対象となった川まつりを紹介します。

日時	場所	タイトル	主催者	参加人数	メニュー
7月20日 10:00~ 12:00	富士見江川 山崎公園周 辺	「青少年環境楽舎 ～江川の魚と小動 物調べ～」	富士見市教 育委員会	53名	江川の魚と小動物調べ
<前夜祭> 7月20日 17:00~ 20:30 <当日> 7月21日 10:00~ 15:00	落合川 不動橋広場	「第10回わくわ く川掃除&川あそ び～川をきれいに して 川で学び遊 ぼう～」	わくわく川 掃除&川あ そび実行委 員会	<前夜祭> 120名 <当日> 400名	<前夜祭> 河原のミニコンサート、野 外映画上映、模擬店あり <当日> 川掃除、ミズガキ講座、ボ ート遊び、新エネルギーパ ネルキット展示
7月21日 9:30~ 12:00	東川 川端橋	「東川の川を調べ てみよう」	東川を愛す る会	70名	清掃、魚類調査、水質調査
8月2日 13:30~ 15:30	柳瀬川 太陽幼稚園 裏の河原	「第4小学校サタ デースクール～せ せらぎ探検隊～」	第4小学校 せせらぎ探 検隊支援隊	50名	魚取り、魚類・生き物調 査、水質の調べ方、投網実 演
8月3日 10:00~ 14:00	黒目川 栗原1丁目 公園前	「第5回わいわい 川あそび『アユの いる黒目川』～川 の石で絵を描こう ～」	黒目川流域 川づくり懇 談会	200名	水質調査、魚類調査、川掃 除、ミズガキ講座（魚取り 教室）、舟あそび（ゴムボ ート、カヌー、いかだ）
8月3日 10:00~ 16:00	北川 北山公園	「第8回北山わん ぱく夏まつり」	第8回北山 わんぱく夏 まつり実行 委員会	1000名	北川カヌー遊び、魚取り （魚類調査）、野遊び、八 国山ハイク、ライブ演奏、 出店
8月10日 9:45~ 12:00	柳瀬川 志木大橋下 流	「柳瀬川・川まつ り 2003『柳瀬川 たんけん隊』～夏 の1日、川で遊ん で、自由研究もや っちゃおう!!～」	NPO 法人エ コシティ志 木、(財)埼 玉県生態系 保護協会志 木支部	209名	魚とり隊（手網・投網によ る魚調査）、引き船カヌー 隊、岸辺の自然あそび
8月24日 10:00~ 14:00	黒目川 朝霞第3中 学校横の河 原	「黒目川・川まつ り」	黒目川川ま つり実行委 員会	350名	水質調査、魚類調査、川掃 除、ミズガキ講座（魚取り 教室）、舟あそび（ゴムボ ート、カヌー、いかだ）
8月31日 10:00~ 15:00	不老川 大森調節池	「第4回鳥になろ う魚になろう大森 の池まつり」	不老川流域 川づくり市 民の会	380名	熱気球、ボート、カヌー、 魚探し、ザリガニ釣り

## 2.2 川まつりの詳細

### (1) 落合川 「第10回わくわく川掃除&川あそび

～川をきれいにして川で学び遊ぼう～

日時：前夜祭 7月20日(日) 17:00～20:30

川あそび 7月21日(祝) 10:00～15:00

場所：落合川 不動橋広場

主催：わくわく川掃除&川あそび実行委員会

落合川の川まつりは、7月20日・21日に東久留米市の不動橋広場にて行われました。ここでは、21日の川あそびについて報告します。川あそび当日はあいにくの雨でしたが、小雨のなか始められた川そうじが終わるころには天候も回復し、子供たち待望の川あそびも無事に行われる運びとなりました。

#### 前夜祭プログラム

##### ①コンサート

和太鼓演奏・沖縄島唄・  
アカペラゴスペルソング・  
フォルクローレ

##### ②野外映画会

かんいりオタマジャクシ  
キツツキ計画

ドナルドダック  
チャップリンのカルメン

##### 《出店》

焼きそば・カレーライス・  
東久留米産のトウモロコシ・  
エダマメ・ポップコーン・綿菓子

#### 当日プログラム

##### 《午前の部》

##### ①川そうじ

落合川 上流：子ども  
下流：おとな

黒目川 上流：おとな  
下流：子ども

##### 《昼食》

##### ②豚汁無料配布など

##### 《午後の部》

##### ③太鼓演奏(ラッコの会)

主催者挨拶  
市長挨拶  
北多摩北部建設局挨拶  
落下傘花火打ち上げ

##### ④川あそび開始

・ゴムボートのり  
・水ガキ講座  
・ほかけ舟づくり  
・一本橋わたり

川あそび終了

##### ⑤水ガキ大賞発表



落合川川まつり会場図

10:00～

常設展示



遊ぶ前に皆で川そうじ



総合治水のパネルでお勉強

12:30～



太鼓の演奏もありました

13:00～ 共立橋付近



竹の橋を渡れるかな

13:00～ 立野橋付近



ゴムボートで川くだり

(2) 柳瀬川 「柳瀬川・川まつり 2003『柳瀬川たんけん隊』

～夏の1日、川で遊んで、自由研究もやっちゃおう!!～

日時：8月10日（日） 9:45～12:00

場所：志木大橋付近

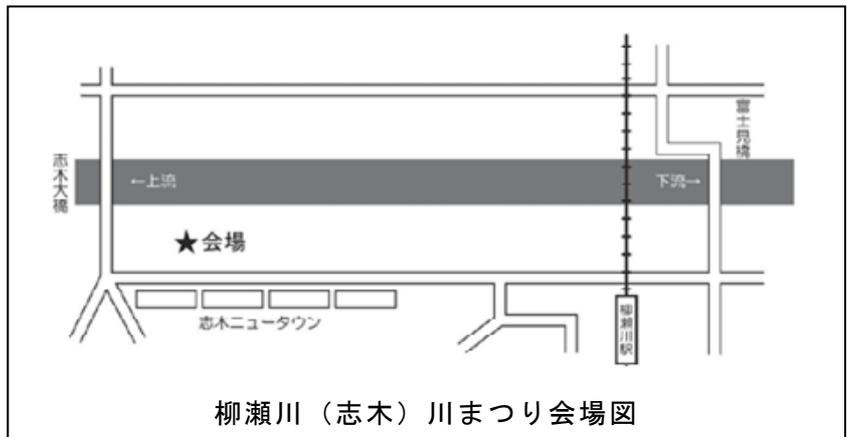
主催：NPO 法人 エコシティ志木

（財）埼玉県生態系保護協会志木支部

リレーも中盤に差し掛かった8月10日（日）は埼玉県志木市の柳瀬川で川まつりが開催されました。当日は台風一過の晴天に恵まれ、子供から大人まで総勢209名の参加者が集まり大賑わいでした。

当日のプログラム

- ①水中ビデオ観察
- ②投網実演
- ③水生生物しらべ
- ④魚しらべ
- ⑤カヌー遊び
- ⑥石ころお絵描き



柳瀬川（志木）川まつり会場図

10:00～



川の中をビデオで観察

10:15～



見事な投網のデモンストレーション

10:40～



川に入って生物を探そう！

11:30～



希望者にはカヌー体験教室も

11:30～ 志木大橋付近



石にお絵描き

(3) 黒目川 「黒目川・川まつり 2003」

日時：8月24日（日） 10:00～14:00

場所：朝霞第三中学校の河原（朝霞）

主催：黒目川川まつり実行委員会

8月24日に、埼玉県朝霞市で黒目川まつりが開催されました。当日は天候も良く、多くの参加者が訪れました。

午前中は、川掃除と手網による魚とりを行い、午後は、舟あそびを楽しみました。参加した子供たちにとっては、残り少ない夏休みの良い思い出となったようです。

当日のプログラム

《午前の部》

- ①開会式
- ②クリーンエイド
  - ・ゴミ調査
  - ・川掃除
- ③ミズガキ講座（魚とり教室）
  - 魚の説明

《昼食》

- ④焼きそばなどを販売

《午後の部》

- ⑤舟あそび
  - ・カヌー
  - ・いかだ
  - ・ゴムボート
- ⑥終了



黒目川川まつり会場図

10:50～



川の水質を調べてみよう

11:30～



皆で捕まえた魚たち

11:40～



魚の説明に興味しんしん

13:00～ 本部前棧橋



ゴムボートは大人気

13:00～ 溝沼池田橋付近



黒目川の魚でつりぼりコーナー

### 第3章 新河岸川流域フォーラムの概要

#### 3.1 当日プログラム

時間	議事次第	内容詳細		会場
9:00~	受付			屋内ひろば
9:30~9:45	開会挨拶	開会の挨拶		市民ホール
		荒川下流河川事務所長 泊 宏 氏		
		東久留米市長：野崎 重弥 氏		
		趣旨説明 フィールドワーク説明		
9:45~11:50	フィールドワーク	少人数のグループに分かれて、落合川と黒目川を見学します。	第1グループ	落合川
			第2グループ	落合川
			第3グループ	落合川
			第4グループ	黒目川
11:50~13:20	昼食および展示物の見学	流域団体活動紹介パネル シンボルキャラクター投票		屋内ひろば
13:20~13:45	講演会	講師：森 良 氏 (NPO 法人エコ・コミュニケーション代表) テーマ：『川であそべばこどもも元気に、川も元気に』		市民ホール
13:45~14:00	説明	ワークショップ説明		市民ホール
14:00~15:30	ワークショップ	フィールドワークで見たことをもとに地図を作ります。 テーマ： 『むかし、いま、みらいの川マップづくり』	むかしの川グループ	7F 会議室
			いまの川グループ	
			みらいの川グループ 1	
			みらいの川グループ 2	
			みらいの川グループ 3	
15:30~16:00	発表会	グループごとにワークショップの成果を発表。		市民ホール
	講評	講評：森 良 氏 (NPO 法人エコ・コミュニケーション代表)		市民ホール
16:00~16:30	閉会	キャラクターの発表 イベントインフォメーション・アンケート		市民ホール

### 3.1.1 開会挨拶

#### (1) 荒川下流河川事務所長あいさつ



皆様おはようございます。国土交通省荒川下流河川事務所の所長をしています泊と申します。今日は皆さん、新河岸川流域フォーラムによろしくお越しくださいました。ありがとうございます。

新河岸川の流域というのは、いくつか特徴があるのですけれども、一番顕著なのは昭和 30 年代頃からこの流域というのは非常に人口が増えて、それまで山林とか畑とか田圃だった所にどんどん

家が建って、たくさんの方が住むようになりました。その結果どういことが川に起きたかという、大雨が降ったら一気にたくさん水が出て、それまで浸からなかったはずの人たちの家まで洪水に浸かるようになってしまったという歴史があります。

そのためには川だけで何とかしようというのはもう無理なので、上流に降った雨をできるだけ地下に、川に出さないように貯めたり、あるいは地面の中にしみこませようという、いろんな対策を組み合わせやってきた歴史がある川です。ただし、近くに住む方にとっては川であそんだり、あるいは川で休憩をしたりとか、安らぎとか、憩いの場所でもある所だろうと思います。

今日は皆さん方、是非この新河岸川流域の川についてよく知っている方々とお話をしあっていただいて、そういうことを積み上げていくことがいい川をつくっていく上で大事だと思いますので、今日はどうか一日楽しんでください。

#### (2) 東久留米市長あいさつ



本日は、大変お忙しいところ、新河岸川流域川づくり連絡会のフォーラム「キラリはっけん！ わたしたちの川」に柳瀬川、不老川、黒目川および砂川堀流域ならびに白子川湧水と自然を守る会をはじめ多数の方々が東久留米市にお集まりいただき、ありがとうございます。

さっそくではございますが、東久留米市の位置は、東京都心から北西へ約 24km、武蔵野台地のほぼ中央、北多摩の東北部に位置し、東は西東京市の一部と埼玉県新座市に、西は東村山市、南は小平市に接し、北は野火止用水を隔てて清瀬市と埼玉県新座市に接して、東西 6.5km、南北 3.5km、面積は 1,292ha です。

昭和 30 年代前半までは畑作中心の農村として発達してきましたが、30 年代後半から大きな団地の造成、宅地開発などが進み、近郊住宅都市として大きく変貌を遂げていますが、今でも武蔵野の面影を色濃く残す緑の姿を市内の随所で見ることができます。

同時期に人口は急激な増加傾向を見せましたが、近年では横ばい状況にあり、平成 15 年 1 月現在、人口 11 万 3,603 人、世帯数 4 万 6,412 世帯となっていて、近郊住宅都市としての性格を表しています。

地形・気候は、市域全体は西から東に緩く傾斜し（標高 70m→40m）、気候は年間平均気温 14.8 度、年間降水量は 1,158 mm で、四季を通じて北風が全風向きの 30% を占め、3～4 月には黄土が空を赤褐色にしてしまうほどです。

東久留米市の緑と水の特性でございますが、小説家の国木田独歩が「昔の武蔵野は萱原のはてなき光景を持って絶賛の美を鳴らして居たやうに言ひ伝えてあるが、今の武蔵野は林であります。林は実に今の武蔵野の特性といっても宜しい」と、明治 31 年に著した『武蔵野』の中で、当時の武蔵野の姿を描いているように、かつては、一面のススキに覆われていた武蔵野台地も、江戸の近郊農村として田圃の開墾が進んでいく中で、増大する木炭の需要に応えるべく植林が積極的に行われ、後に「武蔵野の雑木林」と呼ばれる樹林が広がっていくこととなった訳です。

これら東久留米市の歴史と文化を表す郷土の緑や水は、開発などによりかなり減少してきているものの、市内のあちこちに姿をとどめており、今日でも日常の暮らしの中で市民に親しまれ愛されています。

水に乏しい武蔵野台地にあって市内には黒目川と落合川、それらに注ぐ小流や水路、各所から湧き出る湧水、また市の北を流れる野火止用水と、水に恵まれ、この豊かな水が郷土の歴史を支えてきたとも言える訳でございます。

本市は、都市近郊地域として毎年都市化が進んでおり、緑地空間の減少などによって自然環境が損なわれている中におきまして、先程申しましたが、手付かずの自然が残る場所が随所がございます。

このような環境を保全し、21 世紀、22 世紀に引き継ぐために今日のフォーラムが開催され、大変うれしく思っております。

今後とも、新河岸川流域川づくりの皆さんのお力により、5 つの支川等の地域性や利用のあり方や安全で快適な空間づくり等、こんな水辺があったらといったことについてご意見を賜り、この環境が次の世代へと引き継いでいけるようなお話等を楽しみにしております。

### 3.1.2 フィールドワーク

#### (1) フィールドワークの進め方

フィールドワークのねらいとしては、今回の対象である小学生程度の子供が、楽しみながら、学ぶことができる内容を心がけました。

しかしながら、小学生では学年により体力等の違いがあることから、低学年、中学年、高学年、それぞれを意識した3つのテーマを設定しました。

- 第1コース … 落合川にて湧水地で遊び、魚とりも行う。主に低学年を対象。
- 第2コース … 落合川にて、水質調査を数点で実施しながら、河川沿いに歩く。主に中学年を対象。
- 第3コース … 黒目川にて、水質調査を数点で実施しながら、河川沿いに歩く。主に高学年を対象

各コースの経路は以下のとおりでした。



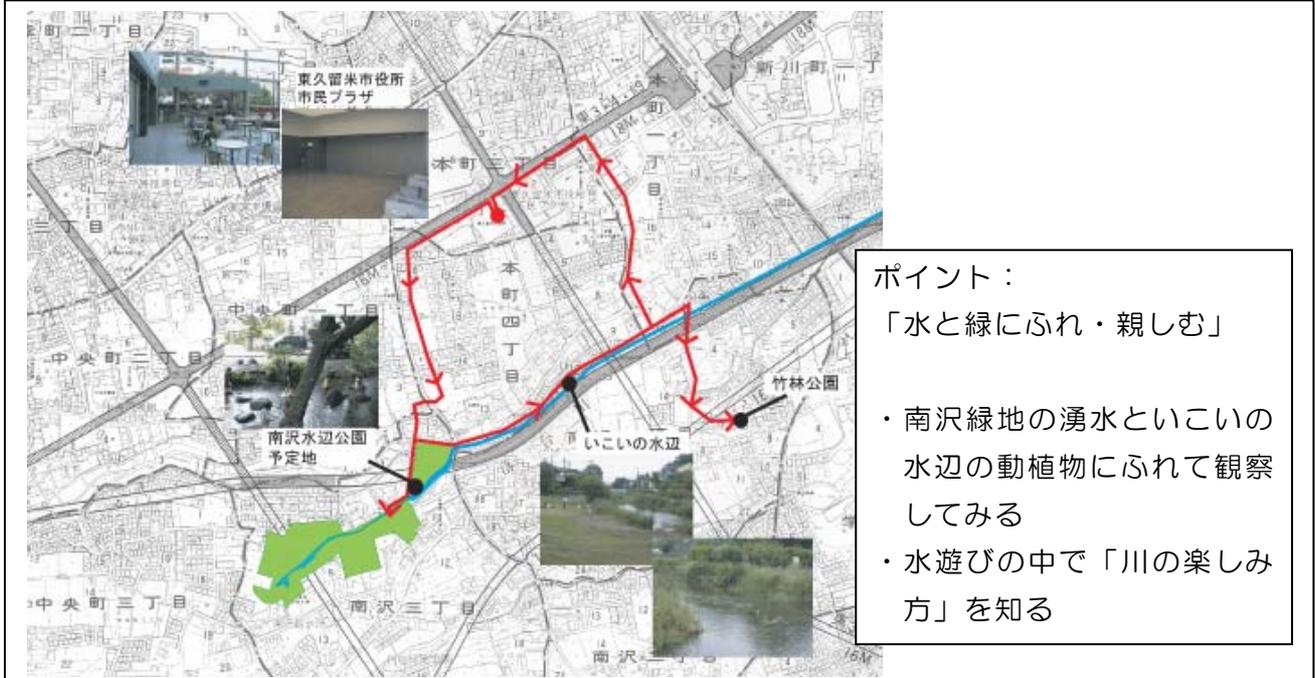
#### フィールドワークのタイムスケジュール

	第1コース		第2コース	第3コース
	第1グループ 上流→下流	第2グループ 下流→上流	第3グループ 下流→上流	第4グループ 下流→上流
9:50	出発	出発	出発	出発
10:00	徒歩(20分)	徒歩(15分)	バス移動(20分)	バス移動(20分)
10:10	南沢緑地 保全地域 (25分)	いこいの水辺 (30分)	徒歩(10分)	徒歩(20分)
10:20	徒歩(15分)	徒歩(15分)	新落合橋(5分)	昭和橋(10分)
10:30	いこいの水辺 (25分)	南沢緑地 保全地域 (40分)	徒歩(15分)	徒歩(40分)
10:40	徒歩(10分)	徒歩(20分)	共立橋(5分)	新大橋(20分)
10:50	竹林公園(15分)	到着	徒歩(15分)	徒歩(10分)
11:00	到着		老松橋(5分)	
11:10			徒歩(10分)	
11:20			いこいの水辺 (20分)	
11:30			徒歩(15分)	
11:40			到着	
11:50				

(2) 当日の開催の様子

第1コース 落合川の湧水と緑の探検隊

第1グループ（上流→下流コース）：参加者13名



いざ出発！  
張り切って  
いこう



竹林公園の水  
はやっぱりき  
れいだなあ～

魚が取れたよ！



いこいの水辺の  
昔はこんなだ  
つんだ

こんなところ  
から水が湧き出  
ているんだね



第1コース 落合川の湧水と緑の探検隊

第2グループ（下流→上流コース）：参加者13名



ポイント：  
「水と緑にふれ・親しむ」

- ・南沢緑地の湧水といこいの水辺の動植物にふれて観察してみる
- ・水遊びの中で「川の楽しみ方」を知る



はぐれないようについできて下さい！

ザリガニの他にも何かいないかな～？

水質検査の仕方はこうやるんですよ

工事前と今の川を比べるとどうですか？ 皆さん！

おさかな大好き！

第2コース 落合川水質調査隊

第3グループ（下流→上流コース）：参加者20名



ポイント：「水の流れと水質変化を観測する」

- ・ 上流に進むにつれ、どのように水質が変化するかを調査し、その原因を考えてみる。
- ・ 現在の川の様子から昔の川の姿を考える。

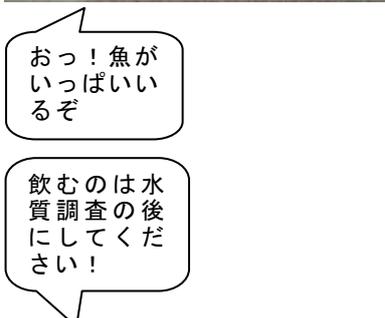


次のポイントまで結構歩くなあ～

ほとんど下までみえるんだ！



この色の变化なら水質は問題ないんじゃないの？



おっ！魚がいっぱいいるぞ

飲むのは水質調査の後にしてください！



この水は飲めるのかな

バケツをひっくり返さないように気をつけて！



### 3.1.3 講演会

講師：NPO 法人エコ・コミュニケーションセンター代表 森 良氏

テーマ：「川であそべば子どもも元気に、川も元気に」

スライド説明担当：菅谷 輝美氏（黒目川流域川づくり懇談会）

講師紹介：森 良（もり りょう）



NPO 法人エコ・コミュニケーションセンター代表。環境教育コーディネーター（教育プログラム・教材の開発、地域振興のプランニング、市民参加の促進）。

1983 年より子どもたちの自然教室など環境教育の実践に携わり、1993 年に環境教育の普及と市民参加の促進のための情報センターとしてエコ・コミュニケーションセンター（E C O M）を設立。現在、同センターの代表者として活動する傍ら学習院大学非常勤講師（環境教育の研究）をはじめ、埼玉県彩の国環境大学運営委員、日中環境教育協力会員など幅広く活躍。

市民参加の環境まちづくり、生涯学習コーディネーターの養成、総合学習のサポートのしくみづくり、平和と環境のためのアジアネットワークをテーマとして、教育プログラム・教材の開発、講座・研究会の企画実施などの事業を展開されている。また、各自治体などにおいて環境教育視点から、生涯学習や市民参加による環境基本計画策定のコーディネートをしてがけている。

スライド説明：菅谷 輝美（すがや てるみ）



<講演記録>

《森 氏》

きょうは、「川であそべば子どもも元気に・川も元気に」という話、というよりも紙芝居、スライドショーなのですけれど、させていただきたいと思っています。12 ページに簡単な資料を用意しましたので、もしこの資料、黄色い表紙の資料を持っている人は、12 ページを出してください。あまり時間がありませんから、簡単に 3 つほど話をしたいと思っています。

きょう午前中、黒目川、落合川のフィールドワークをしました。こちらに「キラリはっけん！」と書いてあります。2 時間弱でしたけれどもたくさん発見がありました。今、私たちがこの川を歩く、そしてたくさんの発見をするということの中には実は、2 番でお話をしたい川の昔、そして今、明日、というのが垣間見えるのではないかと思います。

私も落合川のコースを歩いたのですが、昔は川はこう流れていたのだ、というところがありました。昔の河川敷が今はグラウンドになっていたりしました。家が建っていたりしました。きっと川は、もっと昔は、ゆるやかにゆったりと幅広く流れていたのではないかな、そんなことをフィールドワークをしながら思いました。

これからの川を考える時に、今みたいにフェンスやコンクリートで閉じ込めてしまっているのかな、なんて思いながら歩いていました。ということは、昔のことを考えるということは、川の明日を考えるということではないか、と思ったのです。まず、川で遊んで、川と親しくなる、川と近くなる、というところから次に、みんなで歩いて発見をする。

タイトルであるように、「キラリはっけん！」をして、そしてみんなで明日の川を考えつくっていく、こういうようなことになっていくのではないか、と思ひまして、そんなストーリーを考えてみました。前置きはその位にしまして、早速スライドショーというか、電気紙芝居をやりたいと思ひます。

川であそべば・・・



これは、ここにいる毛利さんに描いてもらった絵です。テーマは「川で遊べばこどもも元気に・川も元気に」です。



これはこの前の柳瀬川の河童祭りの写真です。川を渡っているところです。川は渡れるのですよ。はだしでじゃぶじゃぶ歩いていきます。



こんなこともできます。カヌー。川の水面から見る川の景色って全然違うんだよね。土手の上から見る景色と、川の水面から見る景色は全然違うのです。是非一度川の水面から川の様子を見てください。

楽しい！



川で遊べばとても楽しいのです。



きょう、こんなことをやっている人もいましたね。たくさん魚が見られました。川にはたくさんの生き物が生きています。川で遊べば、こどもが元気になって丈夫になるのです。皆、いい顔をしています。

元気になる、じょうぶになる



いろいろな生き物を捕まえて見てみる。川の自然観察もできます。



川の自然観察をすると、川をめぐる自然のつながりが見えてくるのです。これも毛利さんに描いてもらった、川をめぐる命のつながりの絵なのです。食物連鎖といいますね、難しい言葉で。何が何を食べて。そして魚。魚は何を食べているか。魚を今度は誰が食べているかをたどっていくと、一番上にオオタカという肉食の猛禽類が描いてありますね。これがちゃんとした自然界のつながりなのです。こういう自然が皆さんのところに残っていますか。ちゃんと肉食の動物までいますか。食物連鎖の頂点の動物までいますか。こういう自然のつながりが見えてきます。私たちの住むところにこういう自然のつながりをどうやったら取り戻せるでしょうか。そういう課題も出てきますね。

自然のつながりがわかる



川がきれいになる



川やまちが好きになる



川で遊べば、いろんなことが見えてきて、もう 1 つ、いいことがあります。みんなが川で遊ぶようになると川がきれいになるのです。外のパネルのところに貼ってありましたけれども、この後話してもらった菅谷さんたちは 10 年前から落合川で、まず川をきれいにして、そこで子どもたちと遊ぶ、ということをやっているらしいですね。みんなが川に入るようになると、川がきれいになるんですね。

川で遊べば、子どもが楽しい。そして元気になる、丈夫になる、自然のつながりがわかる、そして川もきれいになる。

だから みんな、川や町が好きになります。

さあ、そんな川の、たんけん・はっけん・ほっとけん、を今日来た人たちだけではなく、もっとたくさんの子供と一緒にやっていくためにはどんなことを考えていったらいいかな、ということで 2 番のお話。たんけん・はっけん・ほっとけん。川の昔、今、明日、ということについて話したいのです。12 ページのレジュメの 2 番を見てください。そこに表をつくってみました。真中のところですね。1 番左のところには川について考えた項目があります。人と川のつながりについて考えてみたい、川の自然について考えてみたい、川そのものについて考えてみたい、大きく 3 つに分けてみました。

人と川のつながり、たくさんありますね。今は人と川のつながりがすごく薄くなっていますが、昔はこれがとても濃かったのです。つながりが密接にありました。飲み水としても利用していました。食べ物もたくさんとれました。川からたくさんの魚、蛋白源がとれたのです。それから遊びの場所でもあったし、宗教などの行事の場所でもあったし。

新河岸川では舟運といって、船での運搬も行われていました。交通の場所でもあったし、それから仕事をする場所でもあった。仕事に役に立つ場所でもあった。後から出てくるけれど、水車を回して粉をひく、エネルギーを取る場所でもあった。そんな形で、では今日、午前中に歩いてきた落合川、黒目川は、この川を見るポイントはどうか、ということをお話をしてもらいたいと思います。よろしくお願ひします。

### (1) 川沿いの土地利用や産業

- 川は水の供給の場としてだけでなく、水車などの動力源として、さらには輸送手段として利用され、生活に密着していました。



上新河岸の船着場風景



水車の模型(朝霞市博物館)

## 《菅谷氏》

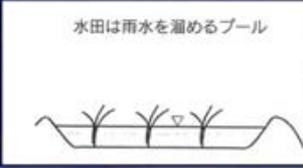
午前中、フィールドお疲れ様でした。午後これから 2 時間くらいあると思います。グループは落合川と黒目川に分かれたのですが、その中で新河岸川という流域の中で僕は住んでいるということで、東久留米中心にお話したいな、と思っています。

きょう、開会式の中で、うちの野崎市長のほうから昭和 30 年以降、東久留米が都市化してきたと。この OHP にありますけれど、実は東久留米には大きな団地、東久留米団地と滝山団地が町部の両サイドに分かれています。昭和 30 年前は畑作中心の農作物です。先ほど水車の話が出ましたが、東久留米の場合は麦で、水車で製粉をしてうどんとかそういうものもやっていました。実は、麦でも柳窪という麦、これは江戸時代からあったのですが、これが現在復活して各地域のお百姓さんにつくっていただいております。

### (2) 治水

- 水田などが持っていた水をプール状に貯める力が失われてしまいました。(遊水機能の低下)

水田は雨水を溜めるプール



水田風景(昭和44年)

### (2) 治水

- 雑木林などは、その下にやわらかいスポンジのような土があり、水を貯えることができましたが、それも失われてきています。(保水機能の低下)

樹林地は自然のスポンジ



落ち葉 腐葉土

### (3) 河川の形状や風景

- 川の流れは、より直線的になりました



改修前の落合橋付近(昭和44年) 現在の落合橋付近

この水田。これは黒目川流域で、今日、参加された方に説明したのですが、今の西武鉄道から下流、ここはほとんど水田風景だった、そういうところを実際に見ていただきました。両側についても学芸大の跡にグラウンドがあるのですが、そこが水田である。やはり川沿いに水田があって、高いところは畑作であった。

樹林地はスポンジということですが、東久留米の場合は保存地域が相当残っています。東京都の保全緑地が約 10 箇所あります。そういう形でスポンジという形もあるのですが、黒目川に行った方は、水際を歩きました。スポンジみたいな形で、本当に川のそばはやわらかいし。僕は腰を痛めていたのですが、川辺に下りたほうが歩きやすかった。そういうことで人にもやさしいし、自然にもやさしいのが樹林地なり水辺である。やはり緑かな、と思っております。

それから、水もやわらかければそれだけ浸透もするし、流出抑制にもなっていくのではないかと。昔の川というのは回りには草地がありまして直接川に入らないような形になっていました。これは川を直線としたところなんです。今日フィールドの中で、落差工とか、堰みたいなのが若干見られたと思うのですが、大体、落差工があったところは河川改修で直線化されたところなんです。曲がっていたところを無理やり直線にしますとどうしても落差、段差が出てくる。この落合橋ですけれど、落合橋の下にも若干の落差があったのではないかと考えております。

### (3) 河川の形状や風景

- 水面は深く遠くなり、フェンスも設置され、水に近づくことは難しくなりました



改修前の不動橋付近(昭和43年)

現在の不動橋付近

### (3) 河川の形状や風景

- 川の護岸は、緑の豊かなものから、コンクリートなどに姿を変えました



河川改修前(落合川鉄橋:昭和49年)

河川改修後(落合川鉄橋:昭和53年)

### (3) 河川の形状や風景 (その他写真①)



昔の黒目川(門前大橋付近:昭和28年)

現在の黒目川(門前大橋から下流を望む)

### (3) 河川の形状や風景 (その他写真③)



緑豊かな河川原観(落合川:昭和47年)

現在の様子(下谷橋から下流を望む)

不動橋前。このように昔の川というのは本当にのんびりしていたということ。どうしても土地の問題で川沿いに家が建ってくる、でもその中で川は必死になって流れていますけれど、この川をどう維持していこうかということ、先ほど僕らも言ったのですが、10年前から人が入って川をきれいになりたいと。自分たちが遊びたいというのが本心でした。

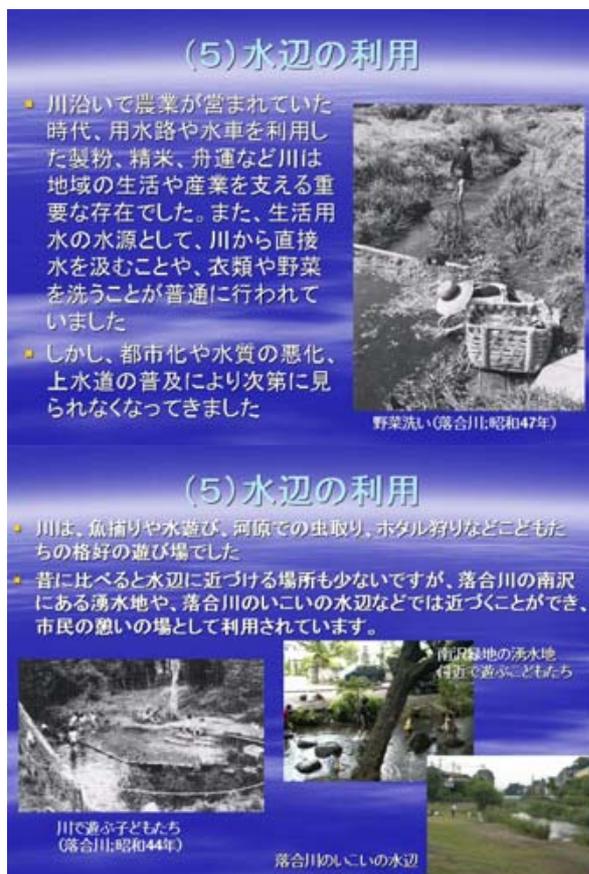
これも門前大橋のところですが、今日もこの現場で説明したのですが、この景観は今、見ることはできないのです。

これは昔の古い写真ですが、残っていたのは、やはり緑がランドマークになっていました。緑の森を今からどう見ていこうか、とやりますと、川の形が変わっているのがはっきりわかります。緑がなくなると、昔の風景が思い出せない。



増水したときも、こう、船がありますけれど、このときも堤防から出て行く。堤防というよりもこの辺の川は掘り込み河川、堤防のない川です。削って川が流れている。よく、堤防が崩れるとか、そういうことではなくて、地面の標高の下に川が流れているのが特徴です。

ですから回りにはフェンスはありますが、土手、堤防がない。1つ、ここにはフェンスがある。フェンスは転落防止策ということで人が落ちないように配置しております。きょうは市の協力に基づきましてフェンスの鍵を借りて、黒目のほうは下を歩きました。



生活の中で水質調査もやられたと思うのですが、直接野菜を洗って、直接自分の口に入れていた、というのが昔の川と僕らの接点ではないかと思えます。

いこいの水辺。これもできて8年、9年になりますが、その前に今日、落合の方は行かれたかどうかわかりませんが、えんま堂ですか、長寿池。この水を飲むと長寿になる、という言い伝えがありますので、浅間町の地元の話では、長寿池の回りの人は本当に長寿の人が多。現在の方も90歳の方ですけれど、自転車で飛びまわって市内の歴史的なものについて僕らにお伝えいただける。ということで、川で育った人はすごく図太いな、と思っております。

河童の伝説。河童というのは口があったり人を飲み込むようなところがある。それから水辺、龍ですね。きょうは、いこいの水辺、南沢緑地に行かれたと思いますが、この氷川神社は龍神志向、天王祭というのがあります。このお祭りも河童にまつわること、きゅうりを7月にお供えして祭りをしているという伝承もあります。

そういうことで、やはり東久留米、南沢緑地。これは各地域、氷川神社というのも武蔵野台地しかないと聞いております。そういう面では龍神だとか河童伝説も伝承の1つです。それも1つの川の中の文化ですが、その文化を伝えるためにきょうは子どもたちに川のことを知ってもらいたいと思います。腕白な人もいます。さっきの食物連鎖ではないですけど、捕ったアユをすぐ食べたくなる子もいます。そんな人たちもいるので、魚の食べ方を伝えなくてはいけないのに伝えなくても覚えちゃう子もいますので、午後のワークショップ、よろしくお願ひします。

### 3.1.4 ワークショップ

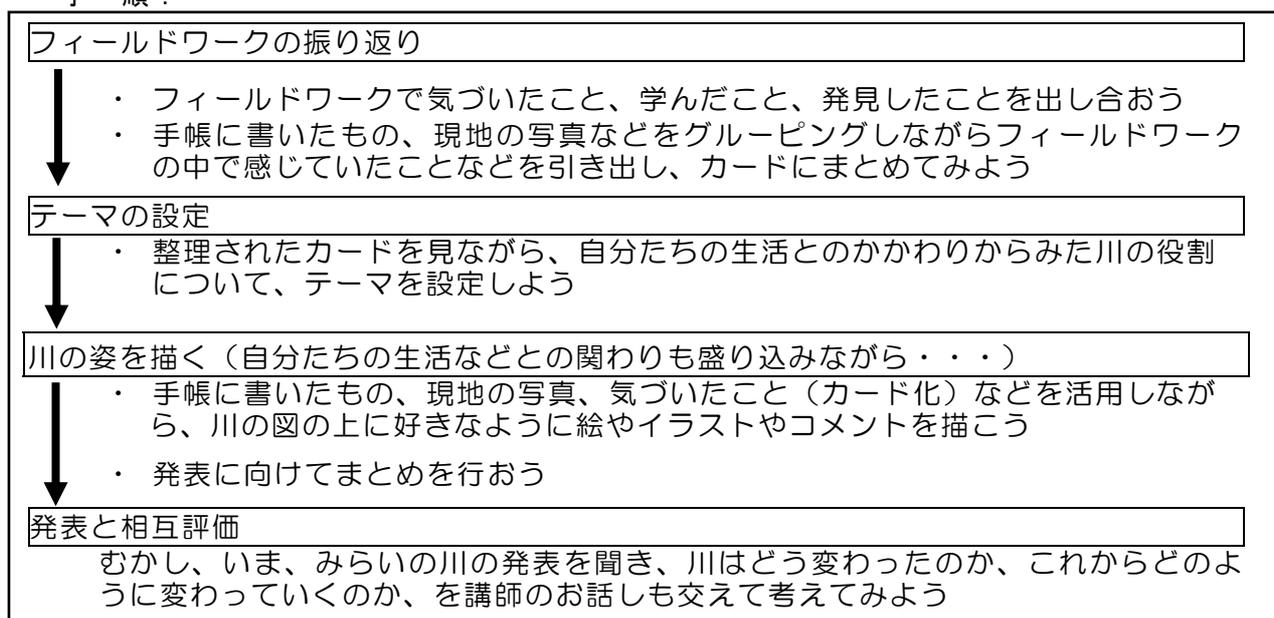
#### (1) ワークショップの進め方

ワークショップを有意義なものにするには、ねらいと成果を定め、事前に準備を行うことで、当日のワークショップの進め方を共有することができました。

ねらい：「自分たちの生活と川とが密接に関わるものであることを考えよう！」

成果：「むかしの川、いまの川、みらいの川について、川の持つべき役割に注目し、それが絵柄になって表現された川と生活とのかかわりが見えるように描こう」

手 順：



## (2) 当日の開催の様子

### ① 昔の川グループ

#### 作業風景



ファシリテーター：菅谷輝美

ファシリテーター補助：藤井由美子

ポイント：参加者それぞれが幼少期に体験した川の様子を水辺の生き物、食べ物などさまざまなテーマに沿ってまとめていく。

#### 発表風景

##### 【昔の川は・・・】

- ・遊び場。
- ・魚を収穫する場。特に大雨の2～3日後は水中に餌がなくなるため、魚釣りには最適だった。
- ・治水対策がされておらず、しばしば氾濫した。
- ・水量が多かった。
- ・護岸工事をしておらず、流れが蛇行していた。
- ・橋は土橋が多かった。大雨が降ると土橋が流され、学校が休みになった。



##### 【もう一度会いたい水辺の生物】

- ・蛍、オニヤンマ、タマムシ、ホンバヤ、ドロベエ、ハヤ、ウグイ、ウナギ、ニジマス、ヤマメ、ドンコ、鮎、ドジョウ、ドイツ鯉、カジカ、川ガキ(子供)、ヤマセミ、フクロウ、シジミ、アカガエルの卵

##### 【今日見た生き物】

- 植物・・・ナナカマドの実、ヨシの群落、ハッカ、カナダモ、ナガエミクリ、しだれ柳、胡桃の実
- 動物・・・アオダイショウ、シオカラトンボ、錦鯉、猫、鯉、タカハヤ、ナマズ、ホトケドジョウ、ギンブナ、カワムシ、ザリガニ、スミウキゴリ、オイカワ、ウキゴリ鮎、モクズガニ、川ガキ



## ②今の川グループ

### 作業風景



ファシリテーター：橋本政子

ファシリテーター補助：三田村順一

**ポイント：**将来の川をきれいにするためには、まず今の川をきれいにするにしなければいけないことに注目し、今の川について考えてみる。

### 発表風景

#### 【問題点】

・ブルーギル、ブラックバス等の外来魚  
外来魚を川に放流すると、もともといた自然の魚がいなくなり、環境破壊につながる。外来魚や他の川から釣ってきた魚は放さないようにしてほしい。

#### 【対策】

- ①川の水をきれいにする  
ブラックバスやブルーギルは排水からでる汚物を食べて生活しているので、川の水をきれいにしたら、食べ物がなくなり、外来魚が自然といなくなるのかなと思う。
- ②流れのある川にする  
外来魚はよどみのあるところが好きで、流れに対する抵抗力があまりないので、川に流れをつくったらそういう魚が住みにくい環境になる。
- ③日本全国でいっせいで対策を講じる  
逃げていった他の川で繁殖するといけないので、日本全部で協力して実行したら日本にいる外来魚がいなくなると思う。だからこれからは、外来魚とかを釣り上げたら自分たちで駆除して減らしていきたいと思う。

#### 【まとめ】

今の川をきれいにしていかないと未来の川はアブラハヤとかオイカワなどがなくなってしまうのではないかなと思う。まずは川にごみを捨てる人をなくすこと。注意を呼びかけるような警告板をつくったりしてなくしていくようにする。最終的に川がきれいになってブルーギルとかブラックバスがいなくなしてほしいと思う。



### ③未来の川グループ 1

#### 作業風景



ファシリテーター：永石文明

ファシリテーター補助：小松原昌男

**ポイント：**都市河川の親水的、共生的な部分に着目して、未来の川に対する各自の思いを出していく。

#### 発表風景

##### 【キーワード】

- ・ 川のいいことも悪いこともよく知っている経験者
  - ・ 都市河川が場所的なキーワード
  - ・ 親水的なもの、共生的なもの
- 具体的なことを皆さんに一言ずつお話してもらおう。

##### 【参加者の意見】

- ・ 生態系を生み出すも、潰してしまうも人間次第。湖畔林を豊かにして、生態系を生み出すような川にしたい。
- ・ 未来の川は、現在の川のように行政がそっぽを向いている川ではなくて、もっと行政が注目し、みんなが注目する川になるだろう。
- ・ 遊歩道の柵をなくして1mくらいの幅でツツジなどを植え、川べりの遊歩道を低くして、歩いて遊べる形になればよい。
- ・ できれば1年中、川遊びができるようにしたい。そうすれば、ゴミも捨てなくなり、川に対して関心を持ってくれる。
- ・ 未来の川は、昔の川に戻ると思う。そして、自己責任を一般の市民に持ってもらう川づくりをしないとフェンスは取り除けない。
- ・ 多摩市の地元の川では、親水のモデルケースとして何とか川を変えたいと思っている。



#### ④未来の川グループ 2

##### 作業風景



ファシリテーター： 宮本善和

ファシリテーター補助： なし

ポイント：自分たちの生活する不老川と今日歩いた落合川と比べてみることで、自分たちの川をどのようにすればよいかを考える。

##### 発表風景

今回はたまたま不老川をやっているメンバーがほとんどになったため、「不老川のみらい」という題になった。  
今回は、落合川を参考にして考えた。



##### 【不老川について】

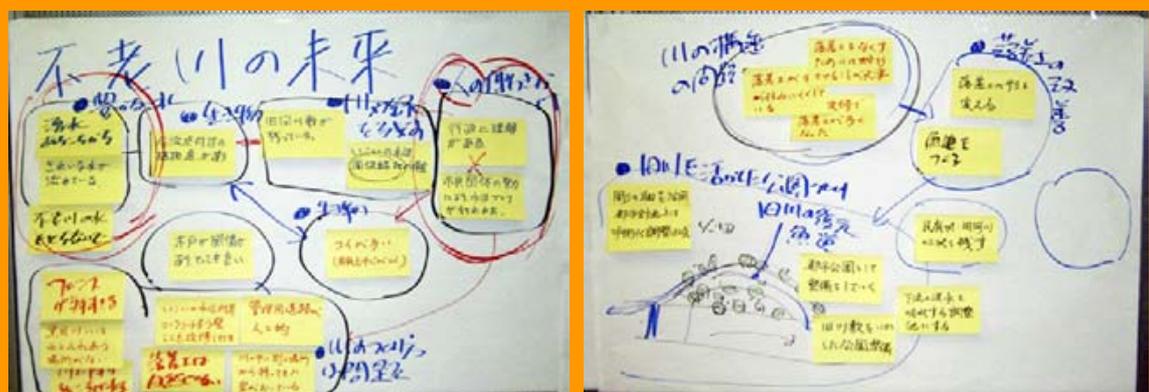
- ・ 不老川は「年取らず川」ということで、冬になると水が枯れる川だった。しかし、今は家庭排水が冬でも流れている為、冬には都市河川の典型的な川になってしまう。
- ・ 埼玉県で、清流ルネッサンスに指定されて、どういう川にするか計画を立てるのでその参考に議論をした。

##### 【落合川について】

- ・ 落合川の良いところは、水・生き物が豊かである。
- ・ 悪いところは、金網のフェンスが高すぎることで、管理用通路が人工的であることである。
- ・ 落差工ができたのも、川を直線にした結果、落差が出てきたので、やはり問題である。

##### 【不老川の未来】

- ・ 落差工を改善してもらう。
- ・ 旧河川の土地を残して、旧河川を生かした公園づくりを行う。
- ・ 水量の問題を解決したいが、いろいろと議論している。



### ⑤未来の川グループ3

#### 作業風景



ファシリテーター：松尾初美

ファシリテーター補助：田辺朝子

ポイント：昔の写真、今の写真を使い、落合川・黒目川の変化を話し合い、川的环境についてこれから自分たちがどのような行動をしていけばよいのかを考える。

#### 発表風景

##### 【現在の様子】

- ・ 黒目川のほうは、全部フェンスに囲まれており、下に降りて遊べない。
- ・ 黒目川で植え込みが邪魔になって車いすの人が川を見れない。
- ・ 黒目川では、渇水期にはほとんど水が流れないため、藻が出たりする。
- ・ 家庭雑排水が入ってくる。
- ・ だんだん、湧水量が減ってきている。

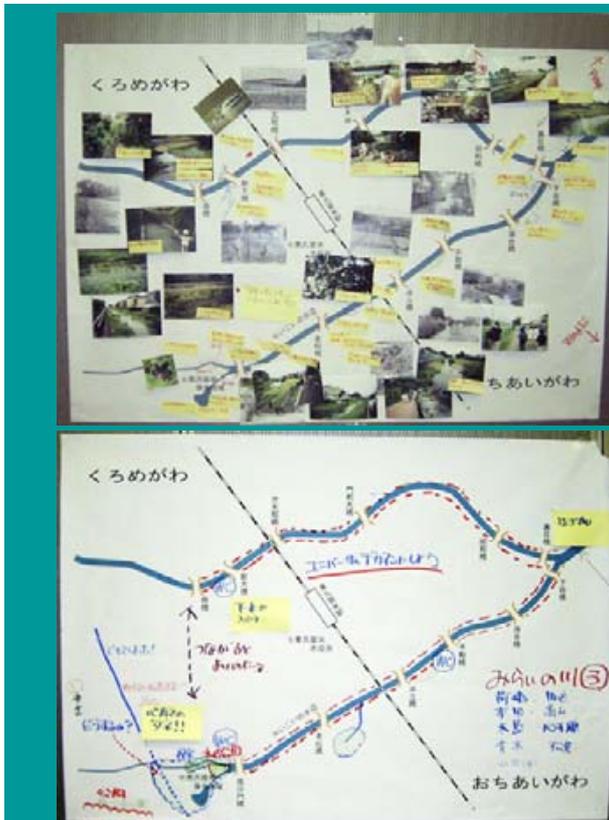


##### 【せっかくきれいになった水を残すには】

- ・ 下水本管につないでいない人たちが、どうにかつなぐ方法はないか。
- ・ 雨水浸透ますの普及を考える。
- ・ 南沢緑地保全地域を守ることが、落合川の生態系を守り、湧水も守ることにつながるのではないか。その方策を考えたい。
- ・ 都市計画道路が南沢湧水の真上を通る計画があるが、これをやめさせる方法はないか。

##### 【まとめ】

- ・ 私たちが環境に対して、どのような考え方を持つか、そしてどういう行動をとるかは、行政も含めて、私たちの生活そのものの問題である。



(3) 講評

<森 氏>

素晴らしい発表がありましたので、5分ほどで簡単にまとめたいと思います。

昔の川と今の川を比べてみると、昔の川のいいところもあったけれども、今の川のいいところもあるという、両方のことが言えると思うのです。

昔の川のいいところはそちらの発表にありましたように、たくさん生き物がいた。今よりたくさんいた。生き物が住める環境がたくさんあった。つまり自然の流れがあった、ということですね。グニャグニャ蛇行していて、その代わり洪水もあって、洪水があふれても大丈夫なように遊水地というのがあって。今みたいに家が迫っていなかったんですね。幅の広い自然の流れがあった、その辺が昔の川のいいところ。

今の川のいいところは、昔の川は下水というのがありませんでしたから、下流に行けば汚かったけれど、今は下水が発達しているのでそんなに汚くない。それが今の川のいいところですね。ただし、人が近づけないようになっている。川が直線のようになっていて、人が下りられないようにフェンスがいっぱいある。これが今の川の悪いところ、こういったところではないかなと。そうなっているので生き物も少ない、ということですね。

皆さんの発表によって、今の川のいいところ、昔の川のいいところが少し見えてきたと思います。そこで、これからどんな川づくりをしていったらいいのか、というところを最後の3つのチームが出してくれたのだと思います。未来の川1のチームでは考え方を出示してもらいました。こういう考え方です。昔の川のいいところを取り戻そうということ。それから、人が近づけるようにしよう、という考え方を、未来の川1のチームは出してくれたと思います。

それで具体的な課題、今、川をどうしていくか。不老川のことを考えてくれたチームは、川の構造の問題を考えましょうと。具体的には落差工をなくすような感じにしたい。それから旧線を生かすような川づくりをしていきたい、という課題を出してくれました。最後のチームは、水量を確保するにはどうしたらいいのか。これは単に川の中だけの問題ではなくて、回りの環境、回りの緑地をどうしていくか、田畑をどう保全していくか、という回りの環境を含めて考える必要がある、ということ。

それから水が循環するように、水が浸透するように道のつくりかた、建物のつくり方を考えていく必要があるということも出てきましたし、川にもっと人が入れるようにしよう、ということ。ハンディを持った人たちも川に近づけるようにしましょう、という課題がでてきました。こんな形で、過去、現在、未来というふうに、落合川、黒目川をきょう、フィールドにして実際に歩きながら考えてみたところ、こういう課題がでてきた、ということだと思います。

結局私たちがこれからしていきたいことは、きょう、みんながやったことをもっと回りの人たちに広めていくこと。本当はもっとたくさんの子供たちを集めたいと思っていたのですが、残念ながらあまりたくさん来てくれなかった。やはり私たちの努力が足りないのです。でも子供が関心を持ってくれば、さっきの子供たちのように素晴らしい視点、鋭い切り込みをして世の中に広げていこうという、素晴らしい意欲も持っています。こういう子供たちをもっと増やしたいと思います。それからこういう機会をもっとつくりたいと

思います。きょう、せっかく新河岸川フォーラムで集まったけれど、50人ではもったいないですね。もっと、いろんな河川、いろんな支川でこういう機会をつくれるようにいけたらいいのではないかと、思います。今の川のチームが提案してくれた、広げるということ。もっと多くの人たちに広げるということを私たちの課題にしていきたいと、思います。

先ほど私がお話しした、昔、今、明日、という表で勉強していくとおもしろいかな、調べるとおもしろいかな、ということなのですが、実際にやってみると、これはまっすぐ進むというよりも、昔のことを検討しながら、昔に戻るのではなくて、こんな感じで私たちの取り組みが進められたらいいのではないかと、思いました。きょうの集まりでみんながやったことを、さらに多くの人たちに広げていきたいと、思います。

### 3.1.5 その他

#### (1) パネル展示

##### 黒目川流域川づくり懇談会



川まつりの様子と河川改修工事の経過について

##### 砂川堀流域川づくり懇談会



砂川堀流域の水路の紹介

##### 東久留米・ホタルを呼び戻す会 東久留米ほとけどじょうを守る会



東久留米の湧水について



川まつりの様子について

##### 北川かっぱの会



かっぱの会の活動報告と川まつりの様子について

##### エコシティ志木



柳瀬川流域の水辺の様子について

### 川づくり清瀬の会



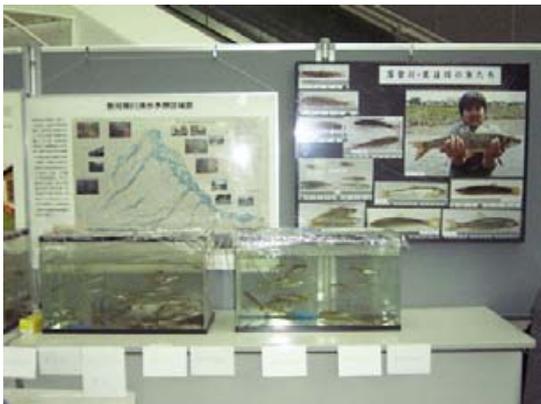
川まつりの様子について

### 所沢源流の会



所沢近辺の柳瀬川流域の河川を紹介

### 新河岸川流域川づくり連絡会



新河岸川流域の紹介と総合治水について  
の説明

### エコ・コミュニケーションセンター



エコ・コミュニケーションセンターの  
活動紹介

(2) 出前水族館

落合川・黒目川に生息する魚を捕獲し、フォーラム会場に展示しました。フォーラム参加者はもちろん、それ以外の方々も興味深くご覧になっていました。

魚捕獲・当日搬入・・・  
展示説明 ……

管野啓三ほか東久留米在住スタッフ  
毛利将範



投網や手網で捕まえました



どんな魚がいるのかな



水槽をのぞきこむ子どもたち

(3) シンボルキャラクター

新河岸川流域のシンボルキャラクターを、リレーフェスティバルのチラシで募集しました。応募作品は6点あり、フォーラム参加者による投票で、入賞作品が3点選ばれました。

イラスト			
名前	にじいろの魚 ・シッピー	ウキゴリくん	かっぱのぱっくん
コンセプト・説明	きれいな川に棲んでいる幻の魚。この魚に出会えると願い事が1つかなう。僕たちの川に幸せの魚シッピーが来れるように川をきれいにしよう。シッピーに会いたい。	網でも簡単にとれるウキゴリくんはよく見ると以外にかわいいよ。	子どもたちがかっぱと遊べるようなきれいな川になってほしい。
作者	内田大駿	毛利将範	溝口良恵

(敬称略)

## 第4章 まとめ

### 4.1 当日アンケート

<h4>1. フォーラム開催情報の入手先</h4> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連絡会メンバーのロコミ</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>パンフレット</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>スタンプカード</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>その他(荒川下流からの手紙、不老川市民の会、スタッフ)</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>主に、メンバーからのロコミであり、パンフレットやスタンプカードなどの広報による情報入手は少ない。</p> </div>		合計	連絡会メンバーのロコミ	5	パンフレット	2	スタンプカード	1	その他(荒川下流からの手紙、不老川市民の会、スタッフ)	6	<h4>2. パンフレット入手先</h4> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各支川の川まつり会場</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>行政機関</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>その他(ファックス、不老川市民の会、荒川下流から)</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>川まつり会場と、行政機関での入手が多い。その他の手段も見られた。</p> </div>		合計	各支川の川まつり会場	3	行政機関	3	その他(ファックス、不老川市民の会、荒川下流から)	3																											
	合計																																													
連絡会メンバーのロコミ	5																																													
パンフレット	2																																													
スタンプカード	1																																													
その他(荒川下流からの手紙、不老川市民の会、スタッフ)	6																																													
	合計																																													
各支川の川まつり会場	3																																													
行政機関	3																																													
その他(ファックス、不老川市民の会、荒川下流から)	3																																													
<h4>3. フィールドワークの満足度</h4> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">とても面白かった</th> <th style="text-align: center;">まあまあ面白かった</th> <th style="text-align: center;">総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1コース</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>第2コース</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>第3コース</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フィールドワークの満足度は、どのコースにおいても、面白いという結果がほとんどであった。</p> </div>			とても面白かった	まあまあ面白かった	総計	第1コース	3	1	4	第2コース	2	1	3	第3コース	4	0	4	総計	9	2	11																									
	とても面白かった	まあまあ面白かった	総計																																											
第1コース	3	1	4																																											
第2コース	2	1	3																																											
第3コース	4	0	4																																											
総計	9	2	11																																											
<h4>4. フィールドワークで面白かったプログラム</h4> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">川あるき</th> <th style="text-align: center;">水質調査</th> <th style="text-align: center;">出前水族館</th> <th style="text-align: center;">鳥類や水辺の植物の観察</th> <th style="text-align: center;">水遊び</th> <th style="text-align: center;">ガイドの話</th> <th style="text-align: center;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1コース(n=4)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>第2コース(n=3)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>第3コース(n=3)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>			川あるき	水質調査	出前水族館	鳥類や水辺の植物の観察	水遊び	ガイドの話	その他	第1コース(n=4)	3	0	0	2	2	4	0	第2コース(n=3)	3	2	1	1	0	1	0	第3コース(n=3)	3	3	1	3	0	3	0	合計	9	5	2	6	2	8	0					
	川あるき	水質調査	出前水族館	鳥類や水辺の植物の観察	水遊び	ガイドの話	その他																																							
第1コース(n=4)	3	0	0	2	2	4	0																																							
第2コース(n=3)	3	2	1	1	0	1	0																																							
第3コース(n=3)	3	3	1	3	0	3	0																																							
合計	9	5	2	6	2	8	0																																							
<h4>5. フィールドワークのコース距離</h4> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">どちらともいえない</th> <th style="text-align: center;">短い</th> <th style="text-align: center;">長い</th> <th style="text-align: center;">総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1コース</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>第2コース</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>第3コース</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>コース距離については、「どちらともいえない」という意見が多数を占めている。</p> </div>		どちらともいえない	短い	長い	総計	第1コース	4	0	0	4	第2コース	2	1	0	3	第3コース	3	0	1	4	総計	9	1	1	11	<h4>6. ワークショップの満足度</h4> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">とても面白かった</th> <th style="text-align: center;">まあまあ面白かった</th> <th style="text-align: center;">総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いまの川</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>みらいの川</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>むかしの川</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ワークショップの満足度は、どのグループにおいても、面白いという結果がほとんどであった。</p> </div>		とても面白かった	まあまあ面白かった	総計	いまの川	2	0	2	みらいの川	2	3	5	むかしの川	2	0	2	総計	4	3	7
	どちらともいえない	短い	長い	総計																																										
第1コース	4	0	0	4																																										
第2コース	2	1	0	3																																										
第3コース	3	0	1	4																																										
総計	9	1	1	11																																										
	とても面白かった	まあまあ面白かった	総計																																											
いまの川	2	0	2																																											
みらいの川	2	3	5																																											
むかしの川	2	0	2																																											
総計	4	3	7																																											
<h4>7. ワークショップに関する自由回答</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークショップとは、①講演会はあまり意味がない、②現場を見て歩き体験すること、③皆で体験に基づき討論、意見を出す、ことです。</li> <li>・ 「洪水が(昔は)楽しかった」という意見をはじめて聞いた。</li> <li>・ 昔、今、未来を通しての川への思い、楽しく本気で考えてしまいました。ありがとうございました。</li> <li>・ 下準備もなく参加したので、ただただ小学生の知識に圧倒されて終わりました。大多数の人が無知でいてはいけないと思うので、ぜひ貴重な知識や危機的な状況は広く伝えていかなければと思いました。</li> <li>・ 小学生がとても詳しく川のこと魚のことを知り、その将来を危惧している点</li> <li>・ 子供達が発表した外来魚の問題</li> </ul>																																														

#### 4.2 まとめ・・・あとがきにかえて

今年は各川まつりと新河岸川流域フォーラムをリレーイベント形式で結びつけるという初めての試みを行いました。ここで、本リレーフェスティバルの反省として、下記の6つの点から振り返ってみたいと思います。

##### 《全体の企画について》

- ・ 数百人規模で行われている各支川流域単位のイベントへの連携強化を行うことで、フォーラムに一般の方々にも興味を持って参加いただくことを企画しましたが、十分な効果をあげることはできませんでした。
- ・ 広報にも川まつりの情報を盛り込み、リレー化という特長を生かすためにスタンプラリーも実施しました。
- ・ その結果、自分たちの住む支川以外の川まつりに興味を持って、複数の川まつりに参加して頂いた方も見受けられました。

##### 《企画内容について》

- ・ 参加者アンケート結果からは、非常に満足して頂けたことがうかがえました。
- ・ ワークショップの発表でもあったように子供の参加したチームの発表は非常に優れていましたので、子供達の参加が少なかったことは非常に残念です。

##### 《会場について》

- ・ 会場のアクセスが良く、展示パネル閲覧者が参加者以外にも多く見られたことは、会場選定による副次的な効果になっていると考えます。

##### 《事前準備について》

- ・ 今回のフォーラムにご協力いただいた流域市民団体の方々や地元市民の方々と、ワークショップやフィールドワークの事前勉強会を開催し、多大な協力を得ることができ、フォーラムの内容を充実したものにすることができました。

##### 《当日進行について》

- ・ 市民の方々の協力によって、楽しく円滑に進行することができました。

##### 《今後の展開策について》

- ・ 今後は、勉強会や新規イベント等を予定しており、フォーラム参加者の川づくりへの参加を進めることができると思います。

本リレーフェスティバルは、各川まつりや新河岸川流域フォーラムの開催に関わられた市民の皆様、会場等を提供された行政機関及びその関係者、新河岸川流域フォーラムの開催に向けてご指導を頂き、また当日の講演と講評をして頂いた、エコ・コミュニケーションセンター代表 森 良氏をはじめとする多くの方々のご協力がなくては開催することはできませんでした。ここに深く感謝し、まとめの言葉として代えさせていただきます。